

INFORMATION OF KAWAMATA TOWN

川俣町の基本情報

所在地	福島県伊達郡川俣町（福島市のすぐ南東）
人口	12,406名（2021年8月）
面積	127.70km ² （町の端から端まで約20km）
基幹産業	製造業、農業
町特産品	川俣シャモ、絹織物、トルコギキョウ、アンスリウム

東京駅	JR東北新幹線 やまびこ・つばさ号 約1時間30~50分
仙台駅	JR東北新幹線 やまびこ号 約20~30分
福島駅	バス 約45分

大阪や新千歳から
福島空港 バス 約40分 郡山駅 新幹線 約15分

「ちょうどいい田舎」の魅力が詰まったまちです
福島市から車で約30分、仙台市へも1時間強で行ける、利便性の高さが魅力です。



LOCAL VITALIZATION COOPERATOR

地域おこし協力隊

まちづくり、新規就農者など随時募集しています。
詳しくは「Wantedly」をご覧ください。

Wantedly > 川俣町役場



ストーリーや
メンバー紹介、
募集情報などを
更新中です！

https://www.wantedly.com/companies/company_2610558/

LOCAL MIGRATION SUPPORT

安心の移住支援

移住・定住支援金、起業支援金など、手厚い移住支援策を
ご用意しています。お気軽にお問い合わせください。

移住支援金

直近で福島県外に連続して
3年以上お住いの方が川俣
町に定住（5年以上継続して
居住する意思のある方）
し、就職した場合に、世帯
で200万円、単身で120万
円が県から交付されます。

町独自の支援策

賃貸住宅の入居者や、トル
コギキョウ・川俣シャモの
生産者、二地域居住者など
への支援金のほか、空き家
の改修・建替えや、空き地
への新築支援金があります。

CONTACT US

移住についてのご相談は…

川俣町移住・定住相談センター

住所	福島県伊達郡川俣町字五百田30番地 (川俣町役場 西分庁舎 1F)
電話番号	070-4851-6912
メール	iju@kawamata-gurashi.jp
営業時間	電話窓口：平日 8時30分～17時15分 オンライン窓口：ご予約に応じて対応

※電話が不在の場合は、折り返しお電話を差し上げます。
※土日祝や上記時間外も、ご予約に応じて対応いたします。

移住・定住ポータルサイト
「かわまた暮らし」

<https://kawamata-gurashi.jp/>



最新情報をお届け！

川俣町の魅力、
先輩住民のインタビュー、
イベント情報などを
随時配信予定です。



福島県 川俣町 移住・定住パンフレット

阿武隈山系の豊かな里山と清流に囲まれながらも、
川俣町は、「ちょうどいい距離」にあります。
川俣町で、「ちょうどいい田舎暮らし」の夢を叶えてみませんか？

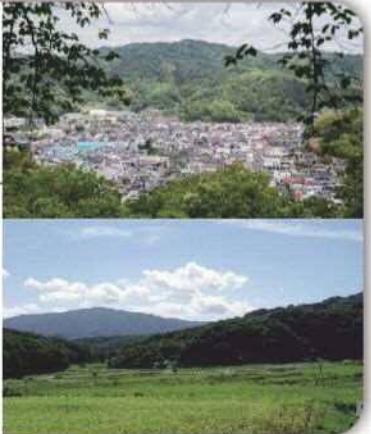
福島駅から車で30分。東京からも2時間圏内。

ACCESS

アクセス

市街地も、大自然にも好アクセス

1



WORK

仕事

まちの産業の担い手から、自由な起業まで

2



MEDICAL CARE / ELDERLY WELFARE

医療・高齢者福祉

大きな病院も近くにある安心感

4



EDUCATION

教育

「みんなでのびる」子どもたちが育つまち

6

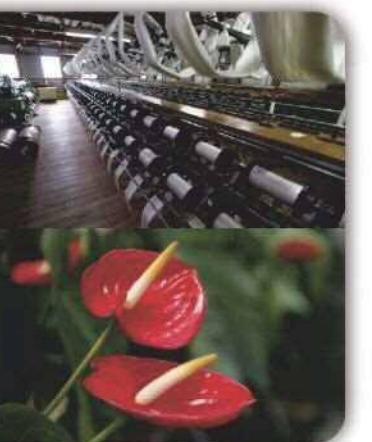


INDUSTRY

産業

商業も、農業も、工業も盛んなまち

7



＼気になることがたくさん／
まちの先輩に
聞いてみました！

川俣町には、ちょうどいい田舎暮らしを楽しんでいる方、新しいことにチャレンジしている方がたくさんいます！一例をご紹介！

**横浜から移住してきた
持田さんご夫妻**


Q. 移住して感動したことは？

プラネタリウムのような星空、きれいな空気、緑、新鮮な野菜や果物。以前は、お金や時間をかけて手に入れたものがここには当たり前のようにあります。里山暮らしは、陸の孤島のイメージがありますが、まちなかで買い物ができますし、福島市にもすぐ行けて不自由していません。まさにちょうどいい田舎暮らしです。

**脱サラして
アンスリウム農家になった
谷口さん**


Q. 新規就農を目指す方へ一言！

花き栽培は、繊細で時期が限られているので丁寧な扱いと要領の良さが求められ、中途半端な気持ちでは取り組めません。しかし、川俣町には頼れる人がいて、チャレンジできる土壤があります。花農家の仲間になり、一緒にまちを盛り上げてくれる方お待ちしております！

**川俣町へ戻ってきた
高橋家住宅保存会
遠藤さん**


Q. あなたにとって川俣町とは？

日常的に暮らしている場所ですが、同時に、非日常に連れて行ってくれる場所もあります。静かな夜の町内は、民家に灯った明かりが綺麗で幻想的な雰囲気に包まれており、自分の知らない世界に迷い込んだような気持ちになります。住んでみるとそのよさがわかるので、ぜひ皆さんに来て実感していただきたいです。

**川俣町で援農されている
大学生
廣瀬さん**


Q. あなたにとって川俣町とは？

自分の価値観を開拓できる場所です。まちには、年齢にとらわれず、若い方から高齢の方まで、まちを再開拓していくと意気込み、実践されている人がたくさんいます。援農を通して、そういう方の人生観、経験を伺い、「こういう生き方もあるのだ」と多様な価値観、人生観を学ぶことができました。